

積善

題字 第241世天台座主 玄深師(惠亮院藏)

餘慶寺だより

編集・発行 上寺山餘慶寺

〒701-4232 岡山県瀬戸内市邑久町北島 1187

納経所 TEL 086-942-0186 FAX 086-942-0187

惠亮院 TEL/FAX 086-942-3788

本乗院 TEL 086-942-2791 FAX 086-239-5823

吉祥院 TEL/FAX 086-942-3789

定光院 TEL 086-942-2356 FAX 086-944-1490

明王院 TEL 086-943-1030 FAX 086-943-1069

圓乗院 TEL 086-942-2356

ホームページアドレス <http://www.yokeiji.com/>

福鈴まつり、今年も開催します。詳しくは別紙ご案内をご覧ください。

ひとくち法話 陰徳



陰徳とは、人に知られないようにまた人に隠れて徳を積むことです。徳は人間としてなすべき正しい行いをする事です。「徳」という漢字を分解すると、「直心を行う」となるのを見て分かります。

「陰徳のあるものは必ず陽報あり 陰行あるものは必ず昭名あり」という言葉があります。人知れず徳を積んだ者には、必ず天がはつきりと幸福を報いとして与えられる、また人に隠れて徳を實踐していくものには必ずその名が世間に現れるということなのです。また、「積善余慶」という言葉もあります。善行を積み重ねていく家には、必ずのちの子孫までも慶びが伝わっていくものということです。

徳を積むなら、目立たぬように・際立たぬように・さりげなくすることです。人に気づかれないからこそ陰徳です。これは、天台宗の教えである「一隅を照らす」に尽きると思えます。今の自分の立場で最善を尽くすことが陰徳であります。一日一善之すなわち真の国宝です。皆さんもぜひ実践しようではありませんか。

「一隅を照らす」とは

- ・今自分の置かれている立場に最善を尽くす。
- ・あらゆる命を大切にします。
- ・ありがたうの心で実行する。
- ・共に生き生かされているという心で、地球にやさしい生活をする。

日常の仏教用語集

■「挨拶」
もともとは禪で用いられた言葉。修行僧に師匠が行う素質を見抜く為の試験。

■「安心」
仏教では「あんじん」と読む。仏の教えから心の平安を得ること。

■「決定」
仏教では「けつじょう」と読む。仏教を信じて動じないこと。

■「我慢」
仏教の煩惱の一つ。強い自己意識から起こす慢心のこと。



餘慶寺からのお知らせ

薬師縁日 (於 薬師堂)

毎月8日 午前10時～ (8月はありません)

護摩供養をしています。

ご祈祷のお申し込みは随時納経所へお願いします。

観音縁日 (於 本堂)

毎月18日 午前8時～

みんなで観音経をあげます。お経本は本堂にありますので、

お気軽にお参りください。



天井絵残りわずかです。ご寄進の申し込みは納経所まで。

餘慶寺水まつり

今年も八月最終土曜日（八月二十七日）の十八時より、恒例の水まつりを開催いたします。

まず「施餓鬼会」法要では、三界万霊、すべての命を供養し、その功德がご先祖様やご家族、自らにも分け与えられます。餘慶寺の各院僧侶全員がおつとめをし、ご参拝の皆様も、水棚に進んで経木塔婆の供養をしていただきます。

引き続き「万灯会」がとり行われます。境内は、供養の灯りで幻想的に照らし出され、癒しの音楽が心を和ませます。

一昨年より開催しております寺院婦人による縁日広場も好評です。お菓子すくいなどお子様にも楽しんでもらえますのでご家族ご一緒にお楽しみください。

夏の終わりは、ご家族お揃いで上寺山餘慶寺へ、お参りください。



境内にお経を唱える各院僧侶



万灯会～供養の灯り～



奉納演奏



縁日広場

「薬師堂」瀬戸内市重要文化財に！

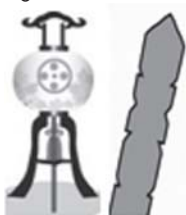
平成二十八年三月十六日、餘慶寺にある薬師堂が瀬戸内市重要文化財に指定されました。



薬師堂は境内の一番奥にあり、大きさは本堂と同じ大きさの五間堂で、享保十九年（一七三四年）に再建されました。そして、二〇一二年のご開帳にあわせ壇信徒各位のご協力のもと、解体修理が行われ現在の姿になりました。

新たな文化財となった薬師堂をこれからもより一層大切に守っていききたいと思っております。

水祭りにおきまして、古い塔婆・・・お焚き上げをいたします。古い盆提灯・・・お祀りいたします。八月になりましたら、本堂へお持ちください。



写経会にご参加ください

境内のハスが見頃を迎える頃、七月一日(金)～三日(日)の早朝五時より、餘慶寺「写経会」が行われます。

初日と二日目は餘慶寺ご本尊「千手観世音菩薩」にちなんだ観音経の一部(偈文)を、三日目はよく親しまれている般若心経を写します。静寂な雰囲気の中、一心に写経すると心が洗われるようです。

その後、僧侶先導のもと、鐘の音に心を落ち着かせながら餘慶寺会館へ静かに移動して、三日間ともに朝粥をいただきます。全ての行事は午前六時半頃に終了予定です。

すがすがしい朝のひとつときの中、一文字一文字に心をこめてつづる写経会に参加されてはいかがでしょう。

なお、参加には準備のため、各院または納経所へ志納金を添えて事前にお申し込みください。



一心に写経に励む様子



肅然と朝粥をいただく様子

四天王像修復のご報告

本堂のご本尊「千手観世音菩薩」が納められているお厨子の両脇に四天王がお祀りされています。

仏教では、世界の中心にそびえる山を「須弥山」と呼び仏堂に設けられた一段高くなった壇は須弥山を象徴したもので「須弥壇」といいます。皆様のご自宅にある仏壇の中にも須弥壇があると思います。

四天王は、この須弥山を守る役目を担当します。そこから、本堂の須弥壇やお厨子を守るようにもなったのでしよう。

また、東西南北を守護する仏様でもあります。東が「持国天(緑)」、南が「増長天(赤)」、西が「広目天(黄)」、北が「多聞天(青)」です。餘慶寺の四天王は黒色ですが、踏みつけられている邪鬼の色がそれぞれをあらわしています。

この度、色彩・持物など鮮やかに修復されました。外陣から少し距離がありますが、お参りの際にはぜひご確認してみてください。



毎月十八日は観音縁日。午前八時より観音経を読誦します。

毎月第二日曜日 午後二時より 阿弥陀堂にて 納骨堂説明会を行っています。

餘慶寺境内紹介

『夢咲く地蔵』

「遊慶の庭」に入ると薬師堂・三重塔などの諸堂や、ハス・スイレンの池が目に入ります。お参りに来られた多くの方から「立派なお寺ですね。」とか「お花がとてもきれいですね。」という声をいただきます。ありがたいことです。

そのような遊慶の庭に新たな人気お参りスポットが昨年できました。それが『夢咲く地蔵』です。

山陽花の寺霊場会の二十四ヶ寺それぞれに「花地蔵」としてお祀りされ、餘慶寺では「皆さまの夢が咲く」ことを願い『夢咲く地蔵』と名づけられました。お顔を少し傾けてにこやかに微笑まれている様子にお参りに来られた方々も自然と笑顔になられます。

また、頭をなでると何とも言えない心地よさを感じられます。お参りの際にはぜひ頭をなでてみてくださいさいね。

皆さまの夢が咲きますよう『夢咲く地蔵』とともに願っております。



よけいじ寺子屋だより

会場 餘慶寺会館（十四時〜）

寺子屋写真館



今後の予定

☆『念珠の話』

講師 安田念珠店

六月十八日(土)

中村良男先生

☆『仏教のイメージ法々十六想観々』

講師 惠亮院住職

六月二十五日(土)

土井内祐真師

☆『天部の仏たち』

講師 明王院住職

七月九日(土)

中尾叡海師

☆『相続税の基礎と対策：チョツとお得な税情報』

講師 税理士及び会社役員

七月十六日(土)

港 定明先生

※聴者若男女どなたでも聴講可能です。(無料)

お誘い合わせのうえ、ご参加ください。

八月はお盆期間中のため、寺子屋はお休みします。

編集後記

新年度が始まり二ヶ月あまりが過ぎました。新たなことに取り組み始められた方もおられることでしょう。

積善の紙面も一面を少し新しいデザインにしてみました。皆様に読みやすい紙面にしていきたいと思います。ご意見ご感想などありましたらぜひお知らせください。